

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年2月20日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105222
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ西伊敷
所在地	鹿児島県鹿児島市西伊敷四丁目45番5号 (電話) 099-228-2772
自己評価作成日	令和6年1月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年2月12日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅街に位置しており、買い物にも便利なところにあります。庭を広く取っており、季節の野菜や花を植えながら、利用者の方々と共に草取り、肥料やりなどで端正に育てています。散策の際に花や野菜の成長を見る事で、利用者様も積極的に草取り等に参加して下さり、野菜を収穫し一緒に調理等されるときには、「自分が育てた野菜」と嬉しそうに召し上がる様子も見られています。新型コロナが5類に移行してからは、ご家族との面会や地域との交流が少しずつ増えてきて、ご家族も積極的に関わって下さっています。地域に対しては町内会に入りながら、回覧板を回したり、町内会長と対話することで、関係が途絶えることの無いようにしています。また、業務にとらわれず、朝の集い等で思いや意向を伺い、ドライブや買い物に出かけるなど、臨機応変な対応を心がけており、常に利用者主体のケアを行うことができるようにしています。年間としては、毎月の鉄板焼きや季節ごとの催し物を楽しんで頂けるように、利用者様と一緒に行事や行事食を決定するように心掛けています。また、身体機能の維持向上を図る目的で個別に体操、生活リハビリにも力を入れた支援を実施しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、バス停やコンビニ・マーケットに近く生活に便利な地域の住宅地に建てられている。新型コロナの5類移行もあり、今後、地域行事への参加や住民への運営推進会議委員依頼等、地域との交流を少しずつ進めていく予定である。
- ・母体医療機関及びかかりつけ医とは定期受診や緊急時を含めた24時間の医療連携体制が築かれており、本人・家族が安心して過ごせる環境である。また、系列の19ヶ所のグループホームとは、情報交換や業務支援を通して相互の協力関係が築かれている。
- ・家族の要望に沿って談話室での対面面会や外出に取り組む等、本人と家族の交流を積極的に支援している。
- ・管理者・職員は、利用者の要望を行事や外出に取り入れるように努め、食事以外は自由に過ごしてもらえよう、一人ひとりに応じたケアに取り組んでいる。
- ・管理者は、研修や資格取得を勧めて質の向上を図るとともに休憩時間の確保など、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の1つから、入居者様のしたいことできることを尊重したケアを再確認することでホームの理念を意識して各人のケアに取り組めるようにしています。	各ユニットのホールに理念を掲示し、毎朝唱和している。3月末に、理念の中で翌年度に重点的に取り組む項目を話し合いケアに繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入り、回覧板を見たり回す際に言葉かけさせていただいている。新型コロナも落ち着き、地域行事の開催が増え、校区文化祭などの行事に参加できた。	町内会に加入し回覧板で地域の情報を得ている。地域住民とは散歩時にあいさつしたり、文化祭に出展し見物にも出かけ、中学生の体験学習受け入れ等、少しずつ交流を再開している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	入職時と年1回は必ず認知症についての勉強会を開催し、外部研修があった際にはミーティングで報告することで、認知症についての理解を深めるようにしています。また、家族や地域の方々の相談に応じることが出来る事をお伝えしており、気軽に相談して頂けるような雰囲気づくりを心掛けています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナの影響で運営推進会議がホームの職員のみでの開催となっているため、第三者からの意見が頂きにくい状態にあります。運営推進会議の前後に書面にて意見を伺うようにしていますが、ご家族の要望にお応え出来る事が少なく、ご家族の理解を頂きながら出来る範囲で要望に応えることが出来るようにしています。	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施しているが、コロナの為、職員のみでの実施となっている。書面で得た委員からの意見で、窓越し面会から対面に変更する等、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	ホームの運営や相談事など、必要に応じて、市の担当者に助言をもらいながら対応しています。	支所の担当者へ相談に出向いて助言を得る等、協力関係を築いており、介護相談員受け入れや研修に参加して情報収集にも努めている。市のメール・FAXは法人で取りまとめて対応している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束マニュアルに基づき、絶対に心身の拘束は行わない事を基本に、毎月身体拘束委員会を開催しています。現状では、身体拘束は行われておりません。今後生命・身体に害を及ぼす可能性があった際は、家族と検討し、市の担当者にも助言をもらい対応していくつもりです。	法人で指針を作成している。事業所で委員会を3ヶ月に1回、研修会は年2回実施し、職員は、身体拘束を実施する場合の手順等を含めて正しく理解している。スピーチロックは職員間で注意を促しており、日中、玄関の施錠はせず、外に出たい利用者には職員が散歩に同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を内部研修で行っており、虐待についての意識を高めることが出来るようにしています。お互い、気付いた時は職員同士で声かけを行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年に2回内部研修を行っています。外部研修に参加し、ミーティングでの報告、再確認や他職員の学びが出来るようにする事で、利用者様の権利擁護を心掛けたケアが出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際には、事前に見学をされたり、契約して頂くことで、ゆっくり時間を取り説明しています。質問については、その都度細かに説明を行いながら、ご家族の表情を伺い、質問が無いかわりにかかるといって心にかけています。また、変更がある場合は書類作成し個別で説明し同意を得ています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の面会が、事前予約をして頂き、談話室にて30分の面会をされています。面会時にお声掛けしてご家族の意向を伺うようにしています。</p>	<p>利用者には日常会話の中で要望を聞いており、好物や嗜好品を行事等で取り入れ、墓参りは家族に依頼している。家族には、面会時に職員から声をかけて要望を聞き、対面面会や外出・外食にも対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>現在は職員のみでの運営推進会議となっているため、職員の意見を運営に反映出来るようになっていきます。また、個別での相談にも応じるように代表者も協力体制を作っており、職員に周知徹底しています。</p>	<p>管理者は、職員から日常業務の中で提案等を受けることが多く、ミーティングで検討して反映できるように努めている。個別相談は管理者またはケアマネージャが受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、毎月開催されている管理者会議・管理者及び職員からの状況報告にて、職員個々の努力や勤務状況を把握するように聞き取りを行っており、勤務形態や給与・職場環境の改善に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修はミーティングを利用して、毎月開催している。外部研修には情報を提供しながら、積極的に参加出来るように、研修費の法人負担や勤務の調整を行うことで、職員への支援を実施しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>毎月の管理者会議や法人主催の研修や、外部での研修に参加することで、同業者とのネットワーク作りを心がけており、サービスの向上につながるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居の際には、ご家族の許可を得た上でご本人との面談を行い、直接不安ごとや要望を伺いながら関係性を作るようにしており、知らない人の中に入ることなく、安心して生活することが出来るように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談を受けた時だけではなく、入居前にご家族に時間を取って頂き、見学、面談を行うことで、今までの生活状況やニーズを把握するように心掛けています。また、定期的に想い・意向を伺うことで信頼関係を築くことが出来るように努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人やご家族との面談を通して、何が一番必要であるのか、本人・家族と共に検討し他サービスを含めた柔軟な対応が出来るように、情報収集を行い多くの選択肢を提示することが出来るように努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で、本人の要望や意向について尋ねながら、本人と一緒に環境作りを行うことで、暮らしを共にしていると思うことが出来るような環境になるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月のお便りで病院の受診結果・生活状況の記録・ホームの行事や日々の生活状況等をおたよりで案内することで、ご本人の現状を把握して頂けるようにしています。また、ケアプランの中には必ずご家族にも役割を持っていただくことで、共に支えていけるような関係作りに努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>新型コロナウイルスが5類に移行されてから、家族・知人の方の面会も増え、外出・外食に出かけたりされている。</p>	<p>談話室での対面面会や電話・外出・外食等、家族との交流を積極的に支援し、事業所からも毎月「便り」にコメントや写真を添えて送付し、家族とのつながりが途切れないように取り組んでいる。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士が安心して生活ができるように、ホールでの座席やそれ以外の場所の環境をその都度、整えています。また、見守りの際には一人一人が孤立することの無いように配慮しながら介助するように心掛けています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終わった後でも必要時には相談を受けており、ご親戚等の入居相談も受け付けることが出来るように体制を整えており、その旨を退所の際にもお伝えしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一日の中でお一人お一人と寄り添う時間を必ず作るように心掛けており、要望を確認する事で本人本位のケアができるようにしています。思いを伝えることが困難な方に対しては、ご家族も含めたチームで検討するようにしています。	職員は一人ひとりの思いを聞ける時間を作り、会話の中で要望等を把握するように努めている。困難な場合は、アセスメントや家族の情報を参考に、本人の表情等から推測して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の段階で、ご家族や以前使われていたサービス提供元から情報を頂くとともに、ご本人にも話を聞きながらこれまでの暮らしの把握を出来るようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の一日の過ごし方を記録に残しており、毎日朝夕の申し送りやカンファレンス等を利用して、本人の現状について職員全員で情報の共有が出来るようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	1回/3ヶ月だけでなく、毎月行っているカンファレンスの際に状態の変化が見られた時にもモニタリングを行っており、ご家族や主治医とも連携を取りながら介護計画の見直しをすることで、より現状に即したケアが出来るように心がけています。	本人・家族・ケアマネージャ・管理者・担当職員で担当者会議を実施し、医師や訪問マッサージ師の意見も参考にして介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化時等に現状に即した計画に見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>実施記録だけではなく、申し送りノートやカンファレンスを利用してお一人お一人についての気づきや状況の共有に努めています。また、日々のケアの際にも気づきの共有を行うことで、見直しに生かせるようにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の状況に応じて、その時に一番必要なサービスは何かを日々確認しながら、柔軟性のあるサービス提供の為の情報の収集や横のつながりも大切にするように心掛けています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>新型コロナの影響で地域資源を使いにくい状況ではありますが、地域資源の状況についての把握を心がけています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医については、入居の段階でご本人やご家族の意向をお伺いしており、希望に即した医療を受けられるようにしています。また、主治医との連携についても、入居の段階から行うことが出来るようにしています。</p>	<p>入居時にかかりつけ医の希望を確認し、職員同行の母体医療機関受診や訪問診療等、希望する医療を受けられるよう支援している。他科受診は家族対応を基本にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要時には、訪問看護を利用できるように関係機関との連携を行っており、日々の状態については、かかりつけの病院看護師が直ぐに相談に乗ってくださることで適切な受診や看護を受けることができるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の段階で医療機関に対して早期の退院をお願いするとともに、入院先の病院と連携を取り、生活リハビリに力を入れていることを伝える事で早期退院が出来るように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に意向を聴くだけではなく、本人の状態をお伝えする際にもホームで出来ることや出来ないことをお伝えしながら、これからの意向についての確認をしており、早い段階で本人が望む状態での終末期に向けた支援が出来るように心がけています。	契約時に、重度化等の場合の対応について選択肢も含めて指針で説明し、同意書を得ている。重度化等の場合、職員から家族に意向を確認し、意向に沿って支援に取り組んでいる。看取り介護の事例があり、看取り期は家族の居室面会を実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてのマニュアルを作成し、すぐに見えるところに置いてあります。また、ホーム内ですぐに対応できる体制作りができています。年1回以上は内部研修を行い、外部での研修についての支援を行うことで、緊急時に慌てることの無いように対策しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年3回の避難訓練を行っており、そのうち1回は消防の方に立ち合いを願いをしており、出来るだけ全職員が参加できるように勤務を組むようにしています。また、緊急時には近隣の方にお手伝い頂けるように町内会の方へお願いしています。</p>	<p>年3回、火災・地震の避難訓練を昼夜想定で実施し、1回、消防署から指導を得ている。近隣住民に協力依頼をしている。非常用の備蓄は、3日分の水・缶詰・レトルト食品・米等の食料やカセットコンロ・ラジオ等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	内部研修の内容に人権擁護とプライバシーについてもついたしています。利用者を人生の先輩と考えることで、お一人お一人が誇りをもって生活することが出来るように、態度や言葉かけを日々振り返りながら支援する様に心掛けています。	研修を実施し、誇りやプライバシーを損ねないよう一人ひとりに合わせた言葉遣いや対応に努めている。食事以外の時間は利用者の考えで自由に過ごせるように支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ミーティングやカンファレンスを利用して、本人の状態に応じて希望や自己決定が出来るような支援についての話し合いを行っています。特に聞き取りの際に、個別に対応する事で話しやすい環境作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	検温時や会話の中から利用者お一人お一人に希望を聞き、その日一日を本人が納得した形で過ごすことが出来るように柔軟な姿勢で支援にあたるように心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整容の際は出来るだけ本人に身だしなみをして頂きけるようにしています。入浴時や外出の際に着る衣服はご本人に選んで頂けるように支援する事で、おしゃれを楽しむことが出来るよう心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で食材を作ったり、食事の準備や片付けを職員と共同して頂いています。また、食事の献立について意見を伺うことで、食事を楽しみにされている様子が見られています。	利用者の希望も入れて献立を作成し、畑の野菜等、旬の物を個々に合わせた食事形態で提供している。茶わん洗いや下ごしらえ・保存食づくりを一緒にしたり、鉄板の日の焼きそばや行事食・外注の弁当等で、楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂食や摂水の状態を記録に残しており、不足するようであれば、素材や嗜好に応じた工夫をする様に心掛けています。一日を通して十分な摂取が出来るように補食や補水も活用しています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア時には、必ず職員が見守り・支援を行うようにしております。その際には義歯の具合・口腔内の観察を行い、本人の希望や必要に応じて歯科医と相談しながら口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄状況を記録しており、その人の排泄パターンや力量に応じた声掛けや排泄介助を行うようにすることで、個人個人が自立した排泄行為を安心して行えるように環境整備に配慮しています。	排泄パターン等を参考に声掛け・誘導を行い、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。排泄の失敗が減少した事例や希望で夜間のみポータブルトイレを使用する等、個々に応じた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別に排泄状況を記録しており、飲食の摂取量、運動量などを工夫して自然な排便が出来るように支援しています。必要な時は緩下剤の使用をすることで便秘の予防を心がけています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は2回/週に予定しておりますが、希望時はいつでも入れること・入浴のタイミングは希望に沿う事をお伝えしており、出来るだけ利用者様の希望に対応する様に心掛けています。	週2回、午前中の入浴を基本に支援しているが、希望等で柔軟に対応している。体調による清拭や汚染時のシャワー浴等で保清に努めており、嫌がる場合も時間や職員を変えて入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望だけでなく、申し送りでのその日の状況や表情等も確認することで、業務に拘らず休息して頂けるよう、柔軟に対応しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情は職員がいつでも見えるところに置いてあり、内服薬の変更等があった時には業務連絡をすることで、職員全員が内服薬について理解することが出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時の聞き取りや、日々の会話から一人一人の生活歴や意向を把握するように努めています。また、集団や個々で役割や楽しみごとをしながら生活することが出来るように環境を整えています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	感染症対策のため、季節ごとの外出は少人数での対応でして頂いていますが、希望時は近隣の散歩等を行うことで外に出る機会を増やせるようにしています。ご家族との外出については制限をしていない為、ご家族の協力で墓参り等されている方もいます。	希望で近隣を散歩したり、年間計画で初詣や季節の花見・そうめん流しに出かけている。その日の気分でドライブや買い物に行く等、できるだけ外出するように支援しており、家族と墓参りや外食等を楽しむ利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談の上、お金を持っている方もいらっしゃいます。手持ちの無い方については、ご家族に希望される際は菓子等の購入について許可を頂いており、一緒に買い物に行った際は、預り金からご本人にお金を支払っていただくようにしています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ホームの電話は希望時に使用することができる事をお伝えしており、実際にかかけられている方もいらっしゃいます。年賀状や暑中見舞い等、定期的に好きな方へ手紙等を書くようにしており、利用者様が送りたい方に送付できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下の壁には季節ごとに一緒に作成した貼り絵や塗り絵等を飾るようにしており、何を飾るかも一緒に考える事で、季節感が分かるように配慮しています。また、共有スペースについては、カンファレンス等で利用者様が戸惑うことが無いか確認しており、席がわからない等の困りごとがあった際はわかりやすいように工夫するようにしています。	ホールは空気清浄機や加湿器・エアコンで過ごしやすい室内環境に調節してあり、窓を開けて換気に努めている。壁に飾った季節のちぎり絵やベランダから畑を眺めて季節を感じてもらっている。利用者が思い思いに過ごせるよう、テーブルやソファを3ヶ所に配置している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースには食事用のテーブルとソファを3ヶ所に配置しており、発言や表情の変化をくみ取りながら、一人一人が思い通りに過ごす事が出来るように日々過ごす場所についての工夫もしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、今まで使っていた馴染みの物を持参して頂くようお願いし、配置や飾り付けを本人と一緒にを行うようにしています。自分のものに囲まれて落ち着いて過ごすことが出来るような環境を作ることが出来るようにご家族にも協力を頂けるようにしています。	居室にはベッドとエアコンが備えてあり、寝具はリースである。本人は使い慣れたベットやダンス・テレビ・神棚・ハンガーラック等の家具や写真パネル等を持ち込み、落ち着いて過ごせる環境にしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の日々の状態を職員全員で共有できるように心がけながら、本人がしたい事や出来る事を安全に行うことができるよう表記や配置についての話し合いを行うことで、安心して自立した生活がおくれるような環境作りに努めています。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない